

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	美術論演習 (Seminar:Art Theory)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	西洋美術史研究入門:美術作品を見る、読み解く		
担当者名 (Instructor)	瀧本 みわ(TAKIMOTO MIWA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2340	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	定員 30 名		

授業の目標(Course Objectives)

西洋美術史研究の根幹をなす作品記述と分析(様式、図像、図像解釈)の方法論を、講義において学び、発表を通じて実践する。

In this course, the aim is to learn the methodology for description and analysis of works (style, iconography, iconographic interpretation) which forms the core of western art history research through the lectures, and practice through presentations.

授業の内容(Course Contents)

西洋美術史の基礎的な方法論を学びながら、受講者は、講師が準備した西洋美術の作品リストから作品を選び、与えられた課題に取り組み、口頭発表を行う。発表で取り上げるのは、古代から近代までの西洋の美術作品である。口頭発表の後、クラス全体での討論及び講評を行う。そして、発表で指摘された点を再検討し、新たな考察を加えて、課題作品に関する最終レポートを提出する。

Students will learn the basic methodologies of western art history, select a work from the list of western art prepared by the lecturer, work on given assignment, and make an oral presentation. Presentation will involve western artworks ranging from ancient to modern times. Oral presentation will be followed by class discussion and commentary. Points identified in the presentation will be reviewed with additional considerations for submission of the final report on the assigned work.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス:作品リスト配布、発表者決定
2. 「作品を記述し、考察する(ディスクリプション)」とは?その方法と学び方
3. 「様式」とは?その方法と学び方
4. 「図像学」、「図像解釈学」とは?その方法と学び方
5. 履修者による口頭発表と討論・講評
6. 履修者による口頭発表と討論・講評
7. 履修者による口頭発表と討論・講評
8. 履修者による口頭発表と討論・講評
9. 西洋美術史研究における様々なアプローチ:美術史研究の現在
10. 履修者による口頭発表と討論・講評
11. 履修者による口頭発表と討論・講評
12. 履修者による口頭発表と討論・講評
13. 履修者による口頭発表と討論・講評
14. 履修者による口頭発表と討論・講評、全体講評、最終レポート提出

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

発表者は、選択した作品に関する課題に関して、20分程度のパワーポイントによるプレゼンテーションと、受講者全員に配布するレジュメを準備する。発表課題の主要文献を講師が提示するので、文献を読み込み、内容をまとめる必要がある。また、発表課題の作品のみならず、授業中で取り上げる作品に関しては、図書館やデータベースのウェブサイトを利用しながら、じっくりと図版を眺め、美術作品を読むこと。美術館や展覧会にも足を運び、美術鑑賞を楽しく、身近なものに感じてもらいたい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

発表(30%)/討論への参加、リアクション・ペーパー(30%)/最終レポート(Final Report)(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. オットー・ペイト、1982、『美術への洞察：美術史研究の実践のために』、岩波書店 (B000J7HVQK)

2. ケネス・クラーク、1985、『名画とは何か』、白水社 (ISBN:4560039313)
 3. マルシア・ポイントン、1995、『はじめての美術史—ロンドン発、学生着』、スカイドア (ISBN:4915879259)
 4. 三浦篤、2001、『まなざしのレッスン①西洋伝統絵画』、東京大学出版会 (ISBN:4130830309)
 5. 若桑みどり、2005、『イメージを読む[美術史入門]』、筑摩書房 (ISBN:4480089071)
 6. 池上英洋、2012、『西洋美術史入門』、筑摩書房 (ISBN:9784480689139)
- この他にも、授業で随時紹介する。

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)